



令和元年11月

<11月の予定>

◎稽古時間：
木曜日・・・17:00～19:00（稽古場所は針ヶ谷小学校体育館）
土曜日・・・15:00～17:00
※11月2日（土）のみ稽古場所は駒場体育館剣道場。
※11月9日（土）以降、駒場体育館改修工事に伴い、
土曜日の稽古場所は本太中学校武道場（修道館）になります。

■16日（土） 令和元年度保護者会（本太中学校武道場（修道館）1F柔道場）
■23日（土・祝） 鳩ヶ谷秋季剣道大会（川口市立八幡木中学校 体育館）

<12月の予定>

◎稽古時間：
木曜日・・・17:00～19:00（稽古場所は針ヶ谷小学校体育館）
土曜日・・・15:00～17:00（稽古場所は本太中学校武道場 修道館）

■ 5日（木） 駒剣寒稽古初日
■ 8日（日） 毎日レディース剣道大会（日野市市民の森ふれあいホール）
■14日（土） 一級審査・合同稽古会（大宮武道館）
錬成部忘年会19:30～（会場未定） ※修道館稽古については未定
■21日（土） クリスマス会（本太中学校武道場 修道館）
■22日（日） 埼玉県剣道大会 小学生の部（埼玉県立武道館）
■26日（木） 駒剣稽古納め
■27日（金） 埼玉大学 寒稽古 初日
■30日（月） 埼玉大学 寒稽古 前半終了

<1月の予定>

◎稽古時間：
木曜日・・・17:00～19:00
土曜日・・・15:00～17:00

■ 4日（土） 駒剣稽古始め・鏡開き
■ 5日（日） 埼玉大学 寒稽古 後半開始
■12日（日） 鳳翔剣大会（埼玉大学 体育館）
■15日（水） 埼玉大学 寒稽古 千秋楽
■30日（木） 駒剣寒稽古千秋楽

こまけんだよりは公式サイトでもご覧いただけます。
是非カラーでもお楽しみください♪ <https://komaken.club>





本荘先生からのお言葉

爽やかな秋晴れというより雨が多いこの頃、さいたま市内でも台風の被害があり、心穏やかでいられない日々が続いています。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。そして、1日も早く元の生活に戻られますことを祈念しております。

さて、10月から全員合同での稽古となりました。赤たすき組も大きな声を出してしっかり稽古ができています。技術的にも向上し頼もしく見えます。先輩方が上手にリードしてくれていますね。引き続き皆で仲良く楽しく稽古していきましょう。

先月号で、さいたま市民剣道大会について書きました。初戦突破を目標にしましたがなかなか難しかったと。そこで、小学生の参考になればと思い、師範の先生方に、『試合前あるいは試合中の気持ちのもち方、緊張のほぐし方』をうかがいました。

尾島先生 ①直前は体を左右に揺らし身体を剣道モードにする。いつでも動ける状態を作る。試合に入ったら②「絶対に負けられない」と思う。③「恐れない」④「前へ前へ」と体を捌く⑤「余分な事は考えない・無心」⑥「試合時間終了まで絶対にあきらめない」

山田先生 黙想をして集中します。頤（おとがい）をあげて姿勢を正しくするようにします。これで、呼吸がしやすい状態になります。蹲踞からゆっくりと立ち上がりすつと半歩前に出て攻め込みます。気持ちで攻め込みます。相手が気合を出すまで待つ、相手が出たらすぐにそれを上回る腹からの声で相手を飲み込むように声を出し気で勝ちます。

※頤・・・下あご

春のさいたま市の試合（一般の部）ではいつも上位に入賞されている錬成部長さんにもお聞きしました。

長谷部さん いつも初戦が全てだと思ってやる。当日相手のことなどは考えない。どうせ体も動かないし緊張するものだと思っておく。試合が始まったら、発声、前に一步出る。自分は前に、相手が下がるように。自分が退くときは相手も退かせる。別れ際は特に気を張る。そんな感じでできればいいと思っています。

試合巧者と言われる、駒剣OB・OGにも聞いてみました。最初に、中学時代、さいたま市学総個人戦で優勝し、高校や警察の大会でも実績のある西先輩です。

西先輩 試合前に発生する弊害的な感情が4つある。①気持ちの高ぶり ②「打ちたい」という欲 ③「打たれたくない」という迷い ④「打たれるかも」という恐怖

その対策として①左足の溜めを意識、右手の力を抜く ②③攻めに徹する ④「やってやるぞ」という強い気持ちを持つ まとめると「いつも通りの剣道」をすること。相手がどうであれ、自分は自分の剣道をすれば良いのだと。それしか試合前考えていません。

次に、中学、高校で団体戦、個人戦ともにいつも県で上位になり関東大会等に出場し、九州の玉竜旗では5人抜きで敢闘賞を受賞している権田(陽)先輩です。

権田(陽)先輩 僕は、実は試合前の緊張はあまりありません。普段の稽古を「今日もやり切った！」と思うほどやる、それが自信になっているように思います。たくさんの負けもありますが(笑)また、会場に行く前に好きな音楽を聞き、袴は右足から履く、こんなルーティンワークもやっています。皆さんも何か見つけてやってみてください。

妹の権田(優)先輩にも聞きました。先般の1年生ながらレギュラーでインターハイ出場は記憶に新しいですが、中学時代は1年の新人戦から、2年の学総、新人戦、3年の学総までさいたま市で個人戦4連覇という偉業を成し遂げています。

権田(優)先輩 私は、試合は好きではなく、試合前は何日も前から緊張します。試合場に入る前、胴の胸の辺りを何回か叩いて自分を励まし、落ち着かせています。また、兄と同じですが、会場まで、好きな音楽を聞いています。勝とう！という気持ちも大事ですが、私は冷静に戦うという気持ちでいつも臨んでいます。

最後に、先日のさいたま市の新人戦で団体戦、個人戦ともに準優勝した飯田(隼)先輩にも聞いてみました。

飯田先輩【面を着けて待っている時、ルーティン】①腰を左右にゆっくり動かす。(動かないでいると緊張感が増してしまう。また、緊張で腹部あたりの違和感を覚えるため、それを予防する為。) ②大きく深呼吸を何回かする。段々と速くしていく。(自分を落ち着かせる為であるが、ずっと深呼吸だとぼーっとしてくるので、段々と呼吸を速くしていく。) ③観客席や周りをあまり見ない。(周りを意識して、逆に緊張してしまう為。試合は観る。)【緊張が増してきたら】自分の胸を軽く叩き、「やるぞ！」という気持ちにさせる。【試合直前】ジャンプして、もう一度自分の構えを確認する。(気合いをいれて、確認すると安心する為。) ※これらのことをする以前に、普段稽古が出来ているかが大きい。しっかり出来ていれば、自信がつき、そこまで緊張しないで試合に臨んでいると思う。

皆さん、しっかり答えていただきありがとうございます。これを読んだ小学生は何かしら感じてくれたのではと思います。参考になったものを、次の試合の時に試してみてください。

ちなみに私は、試合直前に高いところを見ます。体育館の天井とかです。いつからそうしているか覚えていませんが、学生時代、日本武道館で試合をするときは、天井につり下がった国旗を見上げていました。(あの大きな玉ねぎの下の)

そして「大丈夫、相手はこれほど大きくはない」と心を落ち着けてから試合場に入っていました。



新ジャイアンのはなうた♪



よっ！ みんな、元気か？

いや～！すごかったな。え？何が？だって！ラグビーに決まってるだろ！

日本だけじゃなく、どのチーム、どの試合をみても、すごかったな。何がすごいかっていうと、ラグビーは、倒されても、倒されても、相手に向かっていくよな。相手が自分より大きくても、力が強くて、真っ正面から向かっていくよな。そして、何度も、何度も向かっていくと、相手のミスを誘ったり、相手を自分に集中させることで、自分のチームメイトのマークをはずしてチャンスを作ったりすることができるんだよな。ジャイアン、昔、花園（高校生の全国大会）に行った同級生に、「ラグビーってなんで相手のいるところに突っ込んでいくの？相手のいないところに行けば良いんじゃない？バカじゃないの？」って聞いたことがあったけど、ジャイアンの方がわかってなかったな。

ところで、何度も何度も向かっていくと、チャンスが生まれるっていうのは、剣道にも通じるところがあるような気がするのよな。ジャイアンだけじゃないと思うんだけど、どうかな？

剣道では、相手も打ちたいし、打たれたくないよな。だから、中心をとって、せめてから打ったって、よけれちゃったりしてうまくいかないことが多いよな。だからって、相手が出てくるのを待って、かわして打ってやろう、返してやろう、なんて思っていると、相手に打たれちゃったりするよな。

だから、よけれちゃうと思っても、相メンで負けちゃうかとも思っても、まっすぐ打ち込むことが重要で、それをやっていくと、たまにはうまくいくことがあって、だんだんそれが得意技になったりするんだよな。

大切なのは、教えてもらったとおり、正しく、打っていくことだと思うぞ。そして、よけられても、上手く打てなくても、一生懸命、何度もトライし続けることだな。そうすれば、きっと良い剣道ができるようになると思うぞ。ラグビーに「学ぶ」だな。

ところで、次に、最近、ジャイアンが不満に思っていることいっちゃおうかな。

それは、みんな、少しおとなしすぎないかってことなんだ。もちろん、竹刀をむちゃくちゃに振ったり、相手にケガをさせるようなことはダメだけど、でも、大きな声を出して、相手よりもいっぱい動いて、ガンガン技を出すことは、悪いことではないよな。

相手に、すきがあったらドンドン打つ。相手が疲れていたら、いっしょに休んでないでドンドン打つ。相手よりも動いて、相手の技を封じ、自分の技を出す。そういう気持ちで、剣道しているかな？

そういう気持ちで稽古していると、ドンドン強くなると思うぞ。

いっしょにガンガン稽古しようぜっ！

じゃあ、またな！

太郎の百錬自得



第68回

10月は台風や大雨で大変な月でした。私のように稽古会が中止になって、剣道ができなかっただけでなく、大会が延期、審査も中止になりました。さらに実際に被害にあった方もおられると聞きます。心よりお見舞い申し上げます。地球規模の環境変動については、ひとりの力で対峙するのは難しいですが、少しでも災害での被害がなくなるように、各自ができることをしていきたいものです。

11月も大会や稽古会が多くあります。錬成部稽古会はだれでも歓迎です。ぜひご参加ください。

3日 錬成部稽古会 (9時～11時 修道館)、全日本剣道選手権大会

4日 剣道四・五段審査 (埼玉県立武道館)

11、12日 中学剣道新人戦 (11日団体男女、12日個人男女、県立武道館)

23日 鳩ヶ谷秋季剣道大会 (八幡木中)

このほかにも大体お休みの日にはなにかしら大会や稽古会があります。それぞれ目標とするものが、審査なり、大会なり、であるかと思えます。それに向けて、稽古を続けていければいいですね。

さて、審査でも試合でも大事なもののひとつに、「初太刀」があります。最初に出す技のことです。初太刀で、迷いや恐れ、疑いなどの気持ちのひっかかりをなくして、気持ちよく、打ち切って、残心までいけるか。結果として相手から一本をとれるか。仮に一本にならないとして、二の太刀にどのようにつながられるかにも関わってきます。とにかく剣道においてとても重要なもの、それが「初太刀」です。

いかにいい初太刀を出すか、これはとても難しいです。このために剣道をしている人もいるくらいです。が、今回は私が実践したいと思っていることをご紹介します。と思えます。

お互いに礼をして、蹲踞(そんきょ)をし…。

相手に近づくにつれて、相手の気力や迫力がよりつたわってきますが、これは相手も同様です。相手よりも自分を大きくみせられるように所作をします。胸を張って、ゆったりと相手をみながら動作します。

「はじめ」の合図で立ち上がり、発声…。

蹲踞(そんきょ)から立ち上がる時、左足をしっかりと相手に向けて、すっとひきつけるようにします。相手にプレッシャーを与えられます。発声のタイミングは、相手が発声しはじめたときに、一拍置いて発声し、相手よりも発声を長くするときもあれば、相手が発声するよりも前に圧倒するような気迫で発声することもあります。相手をみながら、臨機応変にしますが、とにかく相手よりも気合で勝つことです。

あとは、余計なことを考えずに、ちからを抜く。

剣先が触れ合って、打ち間に入っていく、一足一刀の間合いまで、お互い間をつめ合うわけですが、ここで、いろいろ考えてしまうようでは、いい初太刀は出せません。息を細く長く吐きながら、力まないように、ただ相手の様子をみながら、間合いをつめます。技を出す機会、そしてどの技を出すかは、これまでの稽古で身体が覚えているはずで、自動運転でいけるように、頭で考えないようにします。

という具合で実践しようとしています。

しようとしているだけで、なかなかできません。特に打つか打たないかのところで迷いが出たり、相手の圧力で力んでしまったり、と反省しきりです。でもたまにうまく初太刀が出せたかなと思うところがあります。この繰り返しのかなとも思えます。

さて、今年も残り2ヶ月。悔いのないように過ごしましょう。

父母体験稽古会&錬成部 (旧婦人部) 発足20周年記念稽古会

令和元年10月10日

@駒場体育館剣道場

毎年恒例の父母体験稽古会が今年も駒場体育館にて行われました。今年も戸惑いつつも駒剣士に負けない気合いでお父さんお母さん方ががんばりました！初心者組と体験者の方は、面・小手・胴の往復をし判定しました。試合のあとは親子での剣を交え手のお稽古もあり、思い出深い体験になったことと思います。

また、この日は錬成部(旧婦人部)の記念すべき発足20周年記念稽古会も同時開催でした。尾島先生をはじめ、たくさんの方のご尽力があって木曜日のお稽古ができていると改めて感じました。

【試合結果】

	先鋒	次鋒	十八将	十七将	十六将
赤	飯田(母)	高山(母)	岩田(父)	高山(3年)	轡田(母)
	判	判			ⓧ
白			判	判	
	品田(母)	飯山(母)	張(父)	小島(4年)	齋藤(母)

十五将	十四将	十三将	十二将	十一将	十将
林(母)	小澤(母)	上岡(母)	武笠(母)	宮島(佑)(3年)	並木(3年)
ⓧメ				ⓧメ	
			ⓧ		
石井(母)	竹中(母)	百木(母)	峯(母)	百木(廉)(3年)	廣江(大)(3年)

九将	八将	七将	六将	五将	四将
柴田(4年)	小澤(4年)	森岡(5年)	宮島(英)(5年)	俵(5年)	飯田(6年)
ⓧメ	コ		ⓧメ	ⓧ	ⓧ
	コ	ⓧ		メ	
矢嶋(4年)	品田(4年)	岩田(4年)	百木(慎)(5年)	上岡(5年)	秋本(5年)

三将	副将	大将	勝数
宇野(6年)	轡田(6年)	張(6年)	9
ⓧ	判	メ	
メ		ⓧメ	5
飯山(6年)	大江(6年)	竹中(6年)	



錬成部（旧婦人部）発足20周年記念稽古会&父母体験稽古会を終えて

尾島 寿子

平成11年10月14日 駒場剣友会に婦人部が発足しました。
部員は大本さん（当時初段を取得）、後援部の守屋さんの2名でスタート
令和元年10月10日 錬成部（旧婦人部）発足20周年稽古会 開催
駒剣父母体験稽古会 同時開催

◇木曜日の指導の歴史◇ *あくまでも私が駒剣に指導に入った前後の時期から…

- ①期 杉山先生・石井先生（男性の師範）
- ②期 杉山先生・尾島・黒田（女性）
- ③期 尾島・婦人の指導担当者（メインとサブ）
- ④期 木村先生・尾島
- ⑤期 尾島・錬成部

この③期がとても大事な時期 婦人は本当に熱心に指導の勉強をしました。
指導計画書の提出 定期的に指導者ミーティング・反省会
県剣連月例稽古会・県剣連の暑中稽古の参加
埼玉大学の寒稽古皆勤・芝スポさんへの女子合同稽古への参加

◇発足20周年記念と父母体験の20人制の紅白試合の様子◇

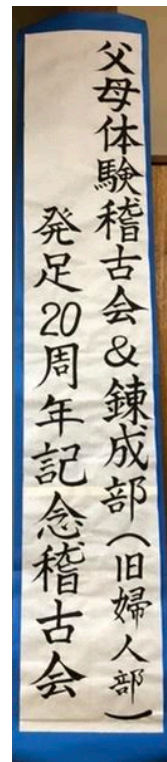
- ①元立ちは錬成部で体験者の発声・基本打ち・面对面の判定
子供の見取り稽古がよく出来ていて大きな発声・足捌き・勢いのある打ちが出来ました。
お父さんの体験はとても貴重！ 張さん、岩田さんチャレンジありがとうございました
- ②赤襷組はお互いに基本打ち・地稽古の判定
少し成長し、相手を意識して打たれる怖さも感じていた様子・反して
打ち切る姿勢も見られました。
- ③若手レディースの試合
軽快な足捌き・気合の入った攻め・大変「たくましい」、未来を感じる
試合でした。
- ④駒剣士経験者の試合
勝ち負けはあったがよく応援が来ていました。

この記念稽古会には当日仕事で間に合わなかった権田さんを含めると、
20名の婦人剣士が集まりました。20周年に20名です(^)/
赤ちゃんが20年を経て成人する様に、婦人部も成人式を迎えました。
若手レディースが駒剣に多く入会し駒剣に携わり自らの稽古に励み、今回
試合もチャレンジしてくれました。先輩婦人の足跡を知って、心の伝承と
発展を目指してほしいと思います。

当日は本荘先生・木村先生・男性錬成部・OBも応援に来館し、この記念日に感謝！感謝です。

お手伝いいただいた後援部の皆さん有難うございました。

父母体験の仕上げは親子で剣道、子供元立ちで試合①の内容を行いました。
体験者から未来の錬成部員が、また生まれるかもしれません。



(峯さん書)

【参加親子感想】

3年 高山くん 初めて試合をさせていただいて、とても緊張したので、ほとんど覚えていません。今度は勝ちたいです。

高山さん(母) 本日は体験稽古会に参加させていただきありがとうございました。
見ている以上に難しく、視界の狭さと自分の体の動きの悪さに、ただただ戸惑うばかりでした。体験後、子どもが嬉しそうに竹刀の持ち方や構え方を教えてくれました。素敵な時間をありがとうございました。
また、防具を貸してくださった林さん。本当にありがとうございました。

4年 岩田くん 体験稽古会に参加したお父さんはがんばっていて、ちょっと面白かったです。

岩田さん(父) 体験稽古会に参加させていただき有難うございました。
剣道着と袴を着けると、背筋が伸びて気持ちが引き締まり、さらに防具と面を着けていただいて、これは面白いと思いました。
面を通して見えたのは、初めての世界。普段の自分とは違う人間になったような気がしました。
尾島先生から面、胴、小手をひとつとおりが指導いただき、「はい、やって下さい」と。「えーもうやるんですか」と思いつつ、見よう見まねでやってみましたが、小手は的が小さく当たりません。胴は左側から打つというのも初めて知りました。剣は野球のバットと違うんですね。
最後に息子と手合わせするという嬉しい御取り計らいもいただきました。面では、息子に手加減してしまいビシッと打つのがからほど遠く、続く小手ではノーコンの剣筋で息子の腕を打ってしまうなど、恥ずかしい内容でしたが、ワクワク、ドキドキの時間でした。普段、息子の試合を見るにつけ、「もっと早く動けるでしょ、スタープラチナ(TVアニメ「ジョジョの奇妙な冒険」の超強キャラ)のように光速を越えて動くイメージで行け」とか、無責任なことを言っていたのが、恥ずかしい限りです。実際に自分がやってみた後で駒剣士の試合を拝見すると、なんと、機敏かつ精密に動いていることか。剣道の面白さとすごさを知ることができた貴重な経験でした。
最後になりますが、このような機会をいただいたことに心より御礼申し上げます。有り難うございました。

4年 品田くん お母さんが初めて剣道をしてくれてうれしかったです。お母さんは初めてで動きが遅いので打つのはやりにくかったけど一緒にできてよかったです。

品田さん(母) この度は体験稽古会に参加させてくださりありがとうございました。
息子が剣道を始めると、剣道には全く関わりなく過ごしてきました。ですから、未知の世界「剣道」に触れられる機会をいただいたこと、本当に嬉しかったです。袴をぎゅっと締めてもらったときの気持ちよさ！しかし、剣道着に袖を通しただけで重い…。袴は歩きづらく立ちづらい…。面をつけると見えづらい聞こえづらい、自分の足下も見られない。と、この時点で普通に動いている子ども達すごい！と感心するばかりでした。足さばきも打ちも当然うまくできませんでしたが、身体を動かしても気持ちよかったです。
体験後、息子から「動きは遅かったけど声は出てたね」とお褒めの言葉(?)をもらいました。親より子の方が上手なものがある幸せを感じつつ、声を出すという自分の目標が達成できたようで一安心でした。

不器用な私に分かりやすくご指導いただいた尾島先生、錬成部のみなさま、着装を全てして下さった上に体験中たくさん励まして下さったスニョン先生本当にありがとうございました。また、参加にあたり三男をたくさんの方が見守って下さったこと、心より感謝申し上げます。

6年 飯田くん 今回、母の試合を見たり、母と剣道をしたりして見て、けっこう頑張っていたと思いました。今回の剣道体験をきっかけに、もっと剣道の面白いところを知ってほしいです。先生方、保護者の方々、ありがとうございました。

飯田さん(母)この度は、剣道体験稽古会に参加させていただき、ありがとうございました。兄の時に体験させていただき、今回、最後の機会にお願い致したく、2回目の参加でした。数日前から緊張し、駒場に到着した際には胃が痛くなるほどでしたが、着装を済ませると覚悟が決まりました。前は、防具を付けるとロボット状態だったのが、今回は少～しだけ楽に動ける感じがしました。しかし、相変わらず視界は狭く、耳も聞こえづらく、先生にご指導いただいても全然その通りに出来ません。頭の中に浮かぶ、格好良い、剣道の動きの幻影がどんどん遠くになっていきます。この状況で、先生のご指示通りに動き、素早い動きをする子ども達は本当に凄いな、と改めて感じました。久しぶりに体験し、息子達に色々言うのはやめよう(再び)と思いました。何か言いそうになったら、この気持ちを思い出したいと思います。

今回は、体験稽古会兼錬成部(旧婦人部)発足20周年記念稽古会でした。この、錬成部(旧婦人部)とは、どういう意味なのだろうと思い、大本先生のお書きになった文(2004年のこまけんだより=月刊KOMAKEN)を読みました。初心者のお母様お二人から3年後に婦人部発足、そして、成人部へ。そこに、「周りで見学をしているお父さん・お母さんぜひ一度、一緒にやってみませんか？子供たちがどんなにがんばっているかきっとわかっていただけたらと思います。」という一文がありました。このような歴史のある部の記念日に、師範の先生・錬成部の先生方にご指導いただき、大変お世話になりながら、体験稽古会に参加させていただいたこと、大変ありがとうございました。そして、剣道が出来なくとも、保護者として大切なことを改めて気付かせて下さいましたこと、本当に感謝致します。師範の先生方、錬成部の先生方、保護者の皆様、小学生会員の皆さん、本当にありがとうございました。

6年 飯山くん 一度も剣道をやったことのないお母さんが、意外にも技を決めていたのでびっくりしました。最初は緊張しているみたいで大丈夫かな～と思いましたが、最後は楽しそうだったのでよかったです。

飯山さん(母)この度は、婦人部発足20周年という記念の稽古会に、剣道体験という形で参加させていただきありがとうございました。

これまでの人生は完全インドア派。体を動かすことには縁がなかったのに、いきなり剣道！しかもこんな歳で！と高すぎるハードルに不安しかありませんでした。緊張の当日、案の定、早くも準備運動から体がついていかず、竹刀の振り方も動作も覚えも体験の他の方々より何歩も遅く、頭が真っ白のまま、あっという間に時間が過ぎた稽古会でした。消極的参加でしたが、おかげさまで無事に終えてみると、「自分の子供と一緒に剣道ができる機会なんてそうそうないから」とお誘いくださった尾島先生に背中を押していただき、思いきって参加して本当によかったです。

息子が駒剣のお稽古を通じて経験したり感じたりしている事を多少共有できたかと思うとそれが何より嬉しく、また、息子が元立ちをしてくれて剣を交える事ができたことも記憶に残るよい経験になりました。ご指導くださった先生方、錬成部・後援部の皆様、貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

6年
轡田くん

親子で剣道をさせていただき、ありがとうございました。前の剣道教室の時に母の面、小手、胴を受けたときはすごく痛かったけれど、今回受けたときはあまり痛くありませんでした。稽古を続けて、剣道に慣れてきたからかなと思いました。これからも、しっかりと稽古を続けて、強くなりたいです。

轡田さん（母）この度は貴重な体験会に参加させていただき、誠にありがとうございました。剣道から離れて二十数年、母になってまた剣道を出る日が来ようとは思っていませんでした。しかも、我が子と一緒に稽古ができるなんて、とても幸せなことですね。これからも親子共々ご指導の程よろしくお願い致します。

6年
張くん

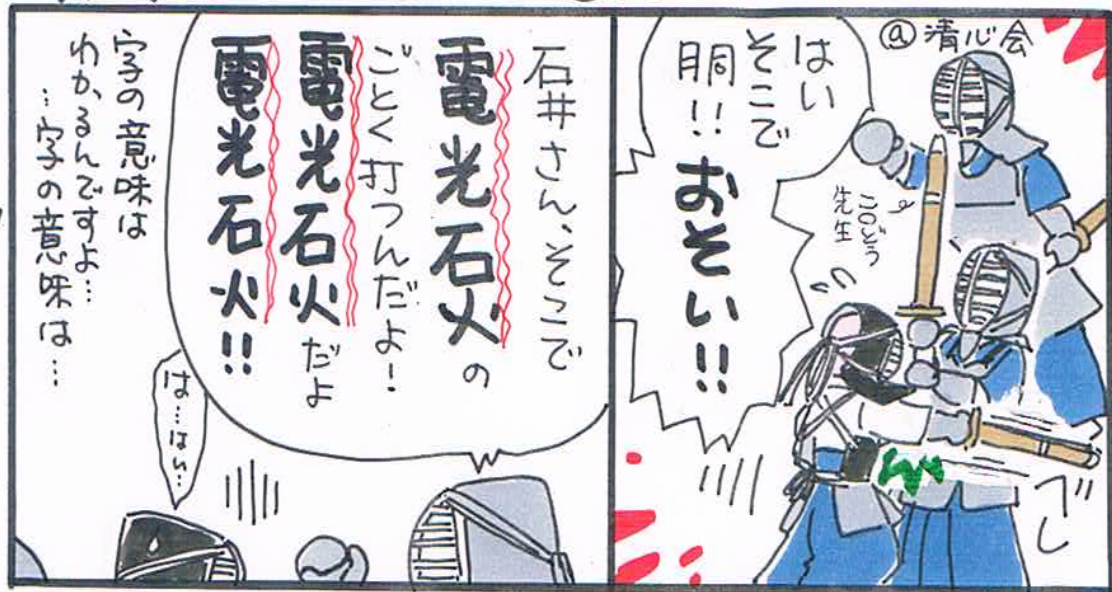
パパが来ていることが嬉しかったです。またパパと一緒に稽古や対戦をして、自分の練習成果をいいアピールするチャンスでした。

張さん（父）まず感じたことは、全体の規律を守ること、子供であれ大人であれ、規律を守ることからスタートし、何よりも全員が心をつにして稽古をやることです。次は面と防具をつけて本番の練習をすると、今まで見てきた皆さんの練習での心境と大変さを深く感じ、易しいことではないと痛感しました。また、普段は事務所で仕事ばかりの親に対して、なかなかいい運動の機会を与えてくれました。これからも是非この様な機会を増やしてほしいです。最後に、尾島先生から紹介してもらい、この駒場剣友会錬成部（婦人部）の歴史を知りました。今日まで続いてきたことは本当に素晴らしいことだと思います。是非、錬成部の知名度をあげ、これからも長く続けていってほしいです。



石井のetc日記 「電光石火」の巻 びんこうせっか

5.7.5



そんで、先日のこと

